

令和 7（2025）年度

学習院大学大学院 博士前期課程（秋期）

人文科学研究科・日本語日本文学専攻

入学試験問題

9：00～10：00 外国語

10：20～12：20 日本語学・日本文学

二〇二五年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線枠内は必ず記入して下さい。氏名欄には母語表記（かパスポートの表記）およびカナ表記を記入して下さい（他の用紙も同じ）。

志望研究科		人文科学研究科 博士前期課程		志望専攻		日本語日本文学専攻		受験番号		氏名		母語で の表記		カナ	
試験科目		日本語学・日本文学 【試験時間】十時二十分～十二時二十		備考		問題用紙 （13）枚中の（1）枚目		採点欄							

注意 問題用紙（解答用紙兼用）は、本紙を含め、全部で十三枚あります。

- 1 問題は、問一から問十二に分かれています。その中から三問を選択して解答して下さい。
- 2 あなたが希望した出題分野を必ず選択して下さい。選択しなかった場合には、得点面で大きな不利となります。
- 3 左の出題分野一覧の中から、あなたが選択した番号を○で囲んで下さい。

- 一 上代文学
- 二 中古文学
- 三 中世文学
- 四 近世文学
- 五 近代文学
- 六 現代文学
- 七 日本語史1
- 八 日本語史2（方言を含む）
- 九 現代日本語
- 十 言語学
- 十一 日本語教育1
- 十二 日本語教育2

二〇二五年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科		志望専攻		受験番号		氏 名	
人文科学研究科 博士前期課程		日本語日本文学専攻				カナ	
						母語で の表記	

試験科目	日本語学・日本文学	考 備	問題解答用紙	採点欄
	【試験時間】十時二十分～十二時二十分		(13) 枚中 (2) 枚目	

一次の『万葉集』巻第一・雑歌に収められた歌を読んで後の問に答えなさい。一部漢字原文のままの箇所がある。なお、解答は各設問の後の空白の箇所 に記すこと。

麻統王、流_ニ於伊勢国伊良虞嶋_一之時、人哀傷作歌

打_{うち}麻_まを 麻_ま統_の王_{をみ} 海_{あま}人_{なれや} 伊_{いら}良_ご虞_{しま}の島_の 玉_{たま}藻_も刈_かります_(二三)

麻統王、聞_レ之感傷和歌

空_く蟬_{せみ}之 命_を惜_しみ 波_{なみ}に濡_ぬれ 伊_{いら}良_ご虞_{しま}の島_の 玉_{たま}藻_も刈_かり食_はむ_(二四)

右、案_ニ日本紀_一曰、「天皇四年乙亥夏四月戊戌朔乙卯、三位麻統王有_レ罪流_ニ于因幡_一。一子流_ニ伊豆嶋_一、一子流_ニ血鹿嶋_一也」。

是云_レ配_ニ于伊勢国伊良虞嶋_一者、若疑後人縁_ニ歌辞_一而誤記乎。

問一 二三番歌の「海人なれや 伊良虞の島の 玉藻刈ります」を現代語訳しなさい。

問二 傍線部「和歌」のここでの訓みをひらがなで書きなさい。現代仮名づかいでかまわない。

問三 二四番歌第一句「空蟬之」のここでの訓みをひらがなで書きなさい。現代仮名づかいでかまわない。

問四 二重傍線部「朔」の意味を書きなさい。

問五 二四番歌左注で述べられている内容を簡潔にまとめなさい。

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科		志望専攻		受験番号		氏名	
人文科学研究科 博士前期課程		日本語日本文学専攻				カナ	
試験科目		日本語・日本文学		問題解答用紙		母語での表記	
【試験時間】十時二十分～十二時二十分		備考		(13) 枚中 (3) 枚目		採点欄	

二次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

さて、⑨九月ばかりになりて、出でにたるほどに、箱のあるを手まさぐりに開けて見れば、ア人のもとに遣らむとしける文あり。あさましさに、見てけりとだに知られむと思ひて、書きつく。

×うたがはしほかに渡せるふみ見ればここやとだえにならむとすらむ

など思ふほどに、むべなう、⑩十月つこもりがたに、△三夜しきりて見えぬ時あり。つれなうて、「しばしこころみるほどに」など気色あり。これより、夕さりつかた、「内裏にのがるまじかりけり」とて出づるに、心得で、イ人をつけて見すれば、「町の小路なるそこそこになむ」とまりたまひぬる」とて来たり。さればよと、いみじう心憂しと思へども、いはむやうも知らであるほどに、「二三日ばかりありて、あかつきがたに門をたたく時あり。さなめりと思ふに、憂くて、開けさせねば、例の家とおぼしきところにもものしたり。つとめて、なほもあらじと思ひて、

なげきつつひとり寝る夜のおくるまはいかに久しきものとかは知ると、例よりはひきつくるひて書きて、移ろひたる菊にさしたり。返りごと、「あくるまでもこころみむとしつれど、とみなる召使の来あひたりつればなむ。いとことわりなりつるは。

×げにやげに冬の夜ならぬ真木の戸もおそくあくるはわびしかりけり

さても、いとあやしかりつるほどに、ことなしびたる、しばしは、忍びたるさまに、内裏になど言ひつつぞあるべきを、Bいとどしう心づきなく思ふことぞ、かぎりなきや。

問1 傍線①「九月」・②「十月」の異名(和風月名)を漢字で答えなさい。

① ②

問2 傍線A「三夜しきりて見えぬ時あり」という表現から分かることを、分かりやすく説明しなさい。

問3 傍線ア・イの「人」とは、どのような人のことを指しているか、それぞれ説明しなさい。

ア イ

問4 和歌Xに使われている修辭について、具体的に説明しなさい。

問5 和歌Yを掛詞に留意して現代語訳しなさい。

問6 傍線Bについて、このような心情になった理由をくわしく説明しなさい。

問7 この文章の出典である作品の名前を答えなさい。

〇二五年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科		人文科学研究科		志望専攻		日本語日本文学専攻		受験番号		氏名		カナ		母語での表記	
博士前期課程															
試験科目		日本語学・日本文学		備考		問題解答用紙		採点欄							
【試験時間】十時二〇分～十二時二〇分				(13) 枚中 (4) 枚目											

三 次の文章は『続古事談』巻二が語る、平清盛（六波羅の太政入道）と藤原長方（梅小路中納言）についての話です。これを読んで、あとの問に答えなさい。

六波羅の太政入道、福原の京たてて、皆渡りゐて後、殊の外に程経て、古京と新京と、いづれかまされるといふ定めをせんとして、古京に残りゐたるさもある人ども、皆呼び下しけるに、人皆、入道の心を恐れて、思ふばかりも言ひ開かざりけり。長方卿ひとり、少しも所を置かず、この京を誹りて、言葉も惜しまず散々に言ひけり。さて元の京のよきやうをいひて、遂にその日の事、かの人の定めによりて、古京へ帰るべき議になりけり。

後に、その座にありける上達部の、長方卿に会ひて、「さてもあさましかりし事かな。さばかりの悪人の、いみじと思ひてたてたる京を、さほどにはいかに言はれしぞ。言ひおもむけて、帰京の儀あればこそあれ、言ふかひなく腹立ちなば、いかがし給はまし」と言ひければ、「この事、我思ふには、さる儀あり。入道の心に叶はむとこそ、さは言ひしか。そのゆゑは、広く漢家本朝を考ふるに、よからぬ新儀行ひたるもの、始めに思ひ立つ折は、なかなか人に言ひ合はする事なし。その仕業、少し悔む心ある時、人には聞ふなり。これもかの京、殊の外に居づきて後、両京の定めを行ひしかば、Aはやこの事悔しうなりにけりといふ事を知りなき。さればなじかは言葉を惜むべき」とぞ言はれける。まことにその後、B人に超えられむとしける時も、この入道よきやうに申し、「長方卿は、殊の外に物覚えたる人なり。たやすく人に超越せしむべからず」とて、後までも方人をせられけるなり。梅小路中納言の両京の定めとて、Cその時の人の口にあるけり。

〔注〕 古京Ⅱ平安京。 新京Ⅱ福原京。 言ひおもむくⅡ説得する。

問一 長方が清盛のことを恐れず、福原京を徹底的に批判したのはなぜか、説明しなさい。

問二 傍線部A「はやこの事悔しうなりにけり」を、現代語訳しなさい。

問三 傍線部B「人に超えられむとしける時」とはどういう時のことか、説明しなさい。

問四 傍線部C「その時の人の口にあひけり」とはどういうことか、説明しなさい。

二〇二五年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科		志望専攻		受験番号		氏名	
人文科学研究科 博士前期課程		日本語日本文学専攻				カナ	
試験科目		考 備		採点欄		母語で の表記	
日本語学・日本文学 【試験時間】十時三十分～十二時三十分		問題解答用紙 (13)枚中(5)枚目					

四

問一 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。解答欄は、「」です。

八日、月山にのぼる。ア木綿しめ身に引きかけ、宝冠に頭を包み、イ強力と云ふものに道びかれて、雲霧山
気の中に、氷雪を踏んでのぼる事八里、更に日月行道の雲関に入るかとあやしまれ、息絶え、身ここえて頂上
に臻れば、日没して月顯る。笹を鋪き、篠を枕として、臥して明くるを待つ。日出でて雲消ゆれば、湯殿に下
る。谷の傍に鍛冶小屋と云ふ有り。此の国の鍛冶、靈水を書びて、爰にウ潔斎して劔を打ち、終に月山と銘を
切つて世に賞せらる。彼の龍泉に劔を添ぐとかや。干将・莫耶のむかしをしたふ。道に堪能の執あさからぬ事
しられたり。岩に腰かけてしばしやすらふほど、三尺ばかりなる桜の、つぼみ半ばひらけるあり。ふり積む雪
の下に埋れて、春を忘れぬ遅さぐらの花の心エわりなし。炎天の梅花、爰にかほるがごとし。行尊僧正の歌の
哀れも爰に思ひ出て、オ猶まさりて覚ゆ。惣じて此の山中の微細、行者の法式として他言する事を禁ず。仍て
筆をとどめて記さず。坊に帰れば、阿闍梨の需めに依りて、三山順礼の句々、短冊に書く。

『おくのほそ道』による

【注】干将・莫耶中国周末頃の名工の夫婦。行尊僧正の歌Ⅱ「大峰にて思ひもかけず桜の花の咲きたりけ
るを見てよめる もろともにあはれと思へ山桜花よりほかに知る人もなし」(金葉集)

- (一) ア「木綿」イ「強力」の読みを、現代仮名遣いで記しなさい。
ア「」イ「」
(二) ウ「潔斎」の意味を記しなさい。「」
(三) エ「わりなし」とは、どのような心情を表していますか。簡単に説明しなさい。「」
(四) オ「猶まさりて覚ゆ」とは、どのような心情を表していますか。簡単に説明しなさい。「」
(五) 『おくのほそ道』について知るところを簡単に記しなさい。「」

問二 次のくずし字を翻字しなさい。解答欄は、「」です。

なまを考ふゆゑも
一日案内宮城野の秋風

二〇二五年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望研究科		志望専攻		受験番号		氏 名		カナ		母語での表記	
日本語学・日本文学 【試験時間】十時二十分～十二時二十分		人文科学研究科 博士前期課程		日本語日本文学専攻									
五 次 (1) 次の項目について具体的に説明しなさい。 『金色夜叉』		考		問題解答用紙									
(2) 次の項目について具体的に論じなさい。 『虞美人草』 平面描写論 「赤い鳥」 新心理主義		備		(13) 枚中 (6) 枚目		採点欄							

二〇二五年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望研究科	
日本語学・日本文学		人文科学研究科 博士前期課程	
		志望専攻	
【試験時間】十時二〇分～十二時二〇分		日本語日本文学専攻	
		受験番号	
備考		氏 名	
		カナ	母語での表記
(13) 枚中 (7) 枚目		採点欄	

六 次の(1)と(2)の両方の問題に答えなさい。

(1) 次の項目について具体的に説明しなさい。

『砂の女』

山田詠美

『野火』

江藤淳

内向の世代

(2) 日本の現代文学に描かれた生殖と妊娠について具体的に論じなさい。

二〇二五年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望研究科		志望専攻		受験番号		氏 名	
日本語学・日本文学 【試験時間】十時二〇分～十二時二〇分		人文科学研究科 博士前期課程		日本語日本文学専攻				カナ	
備	考					母語で の表記			
(13) 枚中 (8) 枚目		問題解答用紙		採点欄					

七 次のA・B二題について解答しなさい。

A 次の(1)～(3)の語句からそれぞれ一つ選び、日本語史の観点から具体例をあげて説明せよ。なお、取り上げたものを○で囲むこと。

(1) 上代特殊仮名遣い ミ語法 義訓

(2) 露出形と被覆形 ク語法と準体句 音仮名と訓仮名

(3) 上代語の音節構造の特徴 上代語の文法の特徴 上代語の表記の特徴

B 上代語と中古語の違いについて、(1) 語彙・音韻・文法・表記・資料のいずれか一つを選んで説明し、(2) 上代語を研究する上で、その違いをどのように踏まえるべきか、自らの考えを述べよ。

(1)

(2)

2025 年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	日本語日本文学専攻	受験番号	氏名	カナ	
						母語での表記	
試験科目	日本語学・日本文学 【試験時間】10:20~12:20		備考	問題・解答用紙 (13) 枚中 (10) 枚目		採点欄	
九 下の ① の a と b、および、② の c と d について、文法的・意味的な違いを論じなさい。 ① a 小さい時、シンデレラが王子様と結婚する物語が一番好きだった。 b 小さい時、私が一番好きだった物語は、「シンデレラ」だ。 ② c パンを盗んだ罪で、牢屋に入れられた。 d パンを盗んだ罰で、牢屋に入れられた。							

二〇二五年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望研究科	
日本語学・日本文学 【試験時間】十時二十分～十二時二十分		人文科学研究科 博士前期課程	
		志望専攻	
備考 備		日本語日本文学専攻	
		受験番号	
問題解答用紙 (13)枚中(11)枚目		氏名	
		カナ	母語での表記
採点欄			

十 (言語学) 次の二つの間に答えなさい。(二)の解答の冒頭には(二)と番号を記してください。

(一) 形態論で一般に区別される「屈折 (inflection)」と「派生 (derivation)」について、具体例を挙げてわかりやすく説明しなさい。また、このような区別に問題があると考える場合には、具体例を挙げて問題点を指摘しなさい。

(二) 日本文法で言う「助動詞」とは何か。具体例を挙げてわかりやすく説明しなさい。

(一)

※太線わく内は必ず記入してください。

十一、日本語教育 1

3. 方略的能力

4. 認定日本語教育機関

(下の升目は横40字)

[illegible]

(下の升目は横40字)

[illegible]

※太線わく内は必ず記入してください。

十二 日本語教育 2

1. 教室指導におけるインフォメーション・ギャップを持つ活動の重要性について説明しなさい。
2. 学習者の日本語能力を筆記テストで評価することの長所と短所についてそれぞれ述べなさい。
3. 教室指導においてドリル練習を行う意味と行う際の注意点について述べなさい。
4. 言語教育における「タスク中心の言語教育 (Task-Based Language Teaching)」について説明しなさい。

(番)

(下の升目は横40字)

A large grid of graph paper, consisting of 20 columns and 10 rows, used for calculations.

(番)

A large grid of graph paper, consisting of many small squares. A thick horizontal line runs across the middle of the grid, dividing it into two equal halves. This line likely represents the x-axis for a coordinate plane.

二〇二五年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

試験科目		志望研究科	
日本語学・日本文学 【試験時間】十時二十分～十二時二十分		人文科学研究科 博士前期課程	
		志望専攻	
		日本語日本文学専攻	
下書き用紙（2枚中のうちの2枚目＝白紙。裏面も使用してよい） ※試験終了後、回収いたします。持ち帰らないでください。		受験番号	
		氏 名	
		原 語 表 記	カナ